

～この夏も、応援したい君がいる。～

「つなぐ……広がる。つながる。安心安全」

以前に比べMGは、少しずつ普及してきているように思うが、日学歯では地元加盟団体の協力のもと、安全教育の一環としてのMGの活用を推奨している。MG装着を義務化するのではなく、自分の安全と健康を自分で守るという意識やその必要性をきちんと理解し、自身の行動に根付かせて、その能力を最大限に活かしてほしい。そして、それが現在だけでなく将来の明るい未来にまでつながるものであってほしいと願っている。

本事業は多くのニュースサイトでも取り上げられており、そんな安全への想いがいま全国に広がりつつある。

花巻東高等学校



講演する鈴木俊一先生

「怪我をすると練習もできなくなる」「MGで歯や口の外傷を予防することは、自分の身を守るだけでなく、相手や部員同士の接触時の怪我を防ぐことになる」「MGの使用により安心安全に最大限の能力を発揮してほしい」と、自身の経験談を踏まえ講演された。



最初に近藤先生が部員の口腔内を診査した



既成MGの作成実習

口腔内診査の後、谷村先生、青木先生、根反先生によるカスタムメイドMGの印象採得。地域の歯科衛生士、歯科技工士の協力もあり、手際よく効率的に進められた。



部員の調整をする照井先生

既成MGとカスタムメイドMGの両方を作成し、カスタムメイドMGの装着感の良さを体験してもらうことも一つの狙いだという。野球部員たちは、「MGは身を守るものなので、野球道具の一つとして使いたい」「安心してプレーするためにも使いたい」など、積極的に使いたいと話していた。



嚔下反射がある場合は、瞬時の判断で塩を使う